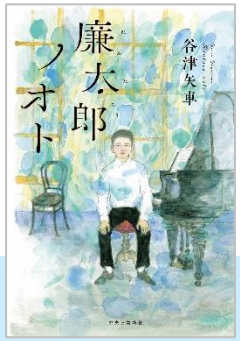
ヤングアダルトとは、12～18 歳くらいのみなさんのことです。

Young Adult News

Vol. 77

テーマ
挑戦



『廉太郎ノオト』谷津　矢車／著　中央公論新社

「荒城の月」「箱根八里」で有名な滝廉太郎は、1894年(明治27年)に当時最年少で東京音楽学校に入学します。そこで幸田露伴の妹でバイオリン奏者でもある幸田幸との重奏を経験し音楽の才能を発揮していきます。そして1901年(明治34年)にドイツに留学しますが、結核にかかり志半ばで帰国。その後、廉太郎を待ち受けていた運命は…。

14歳で東京音楽学校の研究科に入ることを決意し、16歳で入学、そして数年後ドイツへ旅立った廉太郎のように、あなたも一歩踏み出して、何かに挑戦してみませんか？

What's New?

『10代の「めんどい」が楽になる本』
内田　和俊／著　　石山　さやか／マンガ　　KADOKAWA

「あーめんどいわー。」とか、「何かざわざわする。」って誰でも思ったり感じたりした経験があると思います。

この本は、気持ちの切り替え方などをマンガを交えて具体的に紹介しています。生きづらいと感じる心は人それぞれですが、読んでみると目からウロコが落ちるような発見があるかもしれません。対処方法を見つける手助けにどうでしょう。モヤモヤした心を、少しのヒントで楽にしてみませんか？

『世界とキレル』　佐藤　まどか／著　　あすなろ書房

中2の夏、すてきな庭があるロマンティックな洋館に7人の子どもたちが集まって楽しい3週間を過ごすはずが、大事なスマホを取り上げられて大ピンチ！

「スマホがないと誰とも繋がれない。みんなから忘れられてしまう。」 SNSで世界と「ツナガル」ことで生きている舞は、あなた自身の姿かもしれません。デジタルの世界を手放すことで世界と「キレル」のか、それとも本当の「ツナガリ」を見つけることができるのか。舞と一緒に本当の「ツナガリ」を見つけてみませんか。

◆本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています。

ピックアップ／

『令和版　はじめての「ぬう」と「あむ」+おさいほう』
ミカ／著、ユカ／著　（※正式には、ミカ＊ユカ／著）　主婦の友社

双子の手芸作家ユニットによるロングセラー手芸入門書のリニューアル版。手芸の基礎だけでなく、かんたんに作れる小物もたくさん紹介しています。お家時間が長くなる冬にいかがでしょう。

長岡市立地域図書館（7館）

□互尊文庫	TEL35-7981	□中之島地域図書館	TEL61-2165
□西地域図書館	TEL27-4900	□寺泊地域図書館	TEL75-5159
□南地域図書館	TEL30-3501	□栃尾地域図書館	TEL53-3005
□北地域図書館	TEL22-7100	☺お問い合わせは北地域図書館へ	

〒940-0876 長岡市新保町 1399-3　mail:lib.kita@nscs-net.ne.jp
図書館ホームページ https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

編集・発行／指定管理者 株式会社図書館流通センター（TRC）

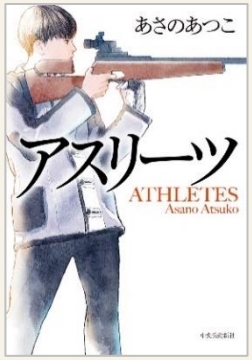
テーマ「挑戦」

何かに挑戦しようとする姿は、かっこいい。

『アスリーツ』

あさの　あつこ／著
中央公論新社

高校生の沙那は、陸上での挫折の傷を癒せないまま、射撃という競技に出合います。初心者ながらもめきめきと実力を発揮していく一方で、競技を知るきっかけとなった親友との仲はぎくしゃくしてしまい…。嫉妬や羨望や焦り、彼女に向かう様々な感情も射撃と向き合っていく中で徐々に成長への糧となっていきます。オリンピック競技ながら、まだまだ知名度の低い射撃という競技の魅力にも触れられるお話です。



『ドリーム・プロジェクト』

濱野　京子／著
PHP研究所

同居する祖父が、亡くなった祖母と住んでいたボロボロの家に帰りたがっている事が気になる孫の拓真。家を修繕して「地域の憩いの場」にしたいと「クラウドファンディング」に挑戦しますが、資金は中々集まらず…。友人4人と注目を集める為あの手この手と奮闘し、果たして目標金額達成できるのか？
大人達を相手に、目標達成に向けて頑張る中学2年生の物語です。

『無限の中心で』

まはら　三桃（みと）／著
講談社

高校2年生の野崎とわは、算数でつまずき、数学は「無理」だと思っている文系少女。新聞部の友達に頼まれて数学オリンピックに挑戦する数学研究部の取材をすることになりますが、そこで部員たちが話していた、数学の難問を置いておくと木曜日に解答されているという「木曜日のミステリー」の方に興味を惹かれます。そして、その解答を見たとわは、あることに気づき…。誰にだって得手不得手はあるけれど、逃げずに挑み続けた先に未来が待っていると感じさせてくれる1冊です。

『朔（さく）と新（あき）』

いとう　みく／著
講談社

朔と新の兄弟は高速バスの事故に巻き込まれ、兄の朔は視力を失ってしまいます。弟の新は、自分の都合で日程を変更し、事故に遭う高速バスに朔を乗せてしまったことを後悔し、それ以来自分の一番大切な走ること、陸上を辞めていました。そんな新に朔は、「新にしか頼めない。伴走者になってもらいたい」と突然願い出て、兄弟はブラインドマラソンに挑戦することになります。兄弟の成長と絆を感じるお話です。

『ぼくがスカートをはく日』

エイミ・ポロンスキー／著
西田　佳子／訳
まめふく／絵
学研プラス

12歳のグレイソンは、女の子が着ている可愛い服やスカートに憧れています。自分が女の子なら、迷わず着ることができるのに…。本当の自分を隠して心の中では女の子たちを羨ましく思っていたグレイソンは、ある日学校で演劇オーディションが開催されることを知ります。思い切って挑戦してみようと思ったのは、ペルセポネという女神の役で…。
ただ、自分らしく生きたい。それだけのことがとても難しく、けれどとても尊いことなのだと感じられるお話です。家族にも友だちにも打ち明けることができなかった本当の自分になるためのグレイソンの挑戦を、ぜひ見届けてください。